

（西暦）2025 年 3 月 11 日

当院において、入院中の状態変化等により集中治療室およびハイケアユニットへ転入し、治療を受けられた患者さんの診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

医療安全体制の一つとして、患者さんの状態変化に伴う予兆を事前に察知し、速やかな対応を行うことで、予期せぬ院内心停止や院内死亡といった有害事象を減らす「迅速対応システム」と言われる取り組みが全国的に普及しています。当院でも 2015 年 4 月より、早期警戒スコアを活用した迅速対応システムを導入し、患者さんが安全に入院・治療を受けられる体制をとっています。今回、入院中の患者さんにおいて、状態変化等により集中治療室またはハイケアユニットへ移動となった患者さんの情報を用いて、迅速対応システムの有効性を明らかにし、結果を基にシステムの修正を行い、看護の質向上につなげることを目的としています。

対象

2015 年 4 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日までの間に、状態変化等による治療のため、集中治療室またはハイケアユニットへ入室され、治療を受けた方。院内ハリーコールの対象となった方

【試料・診療情報等の項目】

試料：なし

診療情報等：病歴、年齢、性別、診断名、既往歴、バイタルサイン、採血データ、心電図等の生理検査データ、画像データ

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、ICU 田尻雄三までご連絡をお願いします。

研究課題名：

Rapid Response System 導入後の院内急変症例と EWS の関連性の検証

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に【または倫理委員会に承認された破棄時点で】完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

許可日～2027年3月31日

医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により急変時対応の有効性が明らかになる事により、病院内の医療安全管理への貢献が為され、社会への貢献が達成されと考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 救急部

【当院での研究責任者】 所属 ICU 職名 看護師 氏名 田尻雄三

【利用する者の範囲】 所属 ICU 職名 看護師長 氏名 陣内万咲美

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

田尻雄三 看護師 tajiri-y@hamanomachi.jp

以上